

●区社会福祉協議会の主な取組

緑区社会福祉協議会では「区計画」の推進について、区役所及び地域ケアプラザと共に、全地区での地域課題の解決に向け様々な取組を行っており、平成27年度の取組の一部を紹介します。

◇基本目標1 地域での「つながり」のあるまちづくり

つながり

● 地域福祉フォーラム・住民支えあいマップ研修

横浜市社協および市内18区社協合同で、“「おたがいさま」の縁づくり”をテーマに、地域の支えあいを活かして新たな地域課題に取り組む先進地区の事例について共有するとともに、身近な地域の支えあいについて考える機会を持ちました。

50世帯を目途に、ご近所エリアによる福祉課題の把握を中心としたマップ作成を通じて地域課題に取り組んでいる神奈川区社協の事例発表大会について、地区社協分科会を中心に参加しました。

● 地区社協との連携強化を目指し、情報交換会を5地区で開催しました。

地区社協と社会福祉協議会が情報交換会を実施し、地区社協の現状や課題を共有し、また、区社会福祉協議会からも地区から寄せられる相談や対応しているケースを紹介することで支援検討をしています。



<情報交換会の様子>

● 地区社協への地域福祉講座補助金

地域福祉講座補助金を介して、助成を希望する5つの地区社協と協働し、地域課題に係る研修を地域の方々と開催しました。

● 11地区の地区別計画推進

支援を目的に地区別計画推進事業を区役所、地域ケアプラザと協働で行いました。

◇基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

人材・担い手

● 地区ボランティアセンター立ち上げに向けた支援

【白山地区】

地区の孤立化防止を目的に、身近な住民同士で支え合える仕組みができるよう、地区社協幹事会にてボランティアセンター立ち上げを検討しています。

今年度は活動希望者アンケートを配布し協力者を募ったり、相談を受けるための携帯電話を購入したりと、立ち上げに向け準備を進めています。

【十日市場団地地区】

団地内の「手伝いたい」「手伝ってほしい」の気持ちを繋ぎ、住民がご近所のちょっとした困りごとに気付く仕組みとして、ボランティアセンター準備会を立ち上げました。概ね月1回の準備会や住民向けの説明会を通し、ご近所同士のたすけあいの実現に向け検討を進めています。

第3章 区計画

●区ボランティアセンター

【生活支援ボランティア養成講座】

暮らしの中の「ちょっとした困りごと」を、身近な住民同士で助け合える仕組みづくりを目的に、生活支援ボランティア養成講座を実施しました。実習を交えながら、障子・網戸の張り替え、水廻りのお手入れ方法を学びました。

講座修了生の多くは緑区ボランティアセンターに登録され、今回学んだ技術を活かしたボランティア活動を行っていただく予定です。



<生活支援ボランティア養成講座の様子>

【学習支援ボランティア講座】

区役所の「困難を抱える世帯の児童への支援事業」に協力し、児童に学習支援を行うボランティア養成を実施しました。

受講者のうち、希望者は実際の学習支援の場を見学しました。子どもの心に寄り添った支援をするための学びとともに、学習支援の場の必要性を感じていただく機会となりました。

日次	日時	内容
第1回	6月22日(水) 18時～20時	
第2回	6月29日(水) 18時～20時	
第3回	7月上旬	*学習支援の場を体験しよう
第4回	7月20日(水) 18時～20時	修了式

◇基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

機会・場

● 福祉保健活動拠点運営の活用

より適切な拠点運営を図るため、お部屋の空き情報表を作成しています。より多くの団体が利用できるように努めています。

また、団体間の交流促進や活動PRを図るため、毎年12月にハーモニーみどりふれあいまつりを開催しています。



<ハーモニーみどりふれあいまつりの様子>

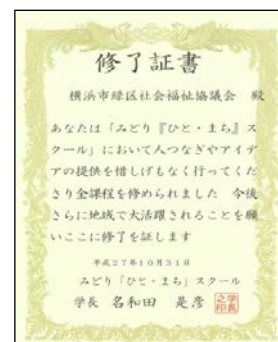


自治会やボランティアグループ等、地域活動をしている方が協力してくださっています。

● 「みどり『ひと・まち』スクール」への参加

参加者の思いを繋げる役割を意識して、区社会福祉協議会も参加しました。

福祉保健活動に限らず、趣味や特技を活かすことに着目することで、新しい人たちのかかわりが増え講座実施等に結びついています。



◇基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

情報

● 障がい児者支援ネットワーク

フェイスブックの活用

主に緑区の学齢期～青年期を中心にした障がい児者を支援するネットワーク作りと情報発信のため、フェイスブックページを作成し各団体からの情報を掲載しました。

また、ホームページもリニューアルしました。

<https://www.facebook.com/midorinetwork>

<http://midorinetwork0.wix.com/midorinetwork>



● 広報紙

区社協だよりを年2回（10月・3月）発行し、福祉情報を区民へ提供しました。

区社協・地域の取り組みを全面カラー刷りで紹介し、読者により見やすく、よりわかりやすい紙面となるよう作成しています。

また、区社協ホームページによるタイムリーな福祉情報の提供を行いました。



◇基本目標5 「安全・安心・健康」のまちづくり

安全・安心・健康

● 災害ボランティアコーディネーター養成研修・訓練

大規模災害発生時にボランティア活動の拠点となる「災害ボランティアセンター」にて、ボランティアの需給調整を行う「ボランティアコーディネーター」を養成する座学による講座を開催しました。

また、ハーモニーみどりふれあいまつりにて、ボランティアの需給調整や活動報告など、被災時における災害ボランティアセンターの役割について体験を行いました。



＜災害ボランティアコーディネーターの訓練の様子＞

● 災害時の回覧板を使用した取組

福祉施設等分科会（※）では、施設間の互助として、災害が起きた時に施設間で情報伝達、協力できるよう検討を進めています。その取組として、災害時に施設間で、回覧板を回す実施訓練を行っています。「いざという時の備え」を施設の視点から考えています。

（※）福祉施設等分科会とは…：区内の社会福祉協議会の会員である福祉施設（保育園や障がい者作業所、特別養護老人ホーム等）が集まり、福祉施設の立場から地域福祉について考える会議です。